

2012年3月期 第3四半期 決算報告

2012年2月3日
株式会社クレスコ
経営企画室

1. 第3四半期決算のポイント

[単位:百万円未満切捨]

1.1. 決算のトピックス

[連結](#)

▶ 連結経営成績に関する主な事項

- ⊕ 売上高 … 126億9百万円 (前年同期比 9.5%増)
- ⊕ 営業利益 … 6億56百万円 (前年同期比 50.0%増)

ソフトウェア 開発事業	金融・保険分野	クレスコにおいて、銀行及び保険業の案件が増加 前年同期を10億55百万円上回り、52億48百万円(前年同期比25.2%増)
	公共・サービス分野	前年同期を2億98百万円上回り、31億21百万円(前年同期比10.6%増)
	流通・その他の分野	前年同期を2百万円上回り、21億9百万円(前年同期比0.1%増)
組込型 ソフトウェア 開発事業	通信システム分野	クレスコにおいて、通信端末の開発案件が減少 前年同期を1億39百万円下回り、6億10百万円(前年同期比18.6%減)
	カーエレクトロニクス分野	クレスコにおいて、車載関連の案件が減少 前年同期を3億72百万円下回り、9億58百万円(前年同期比28.0%減)
	情報家電等・その他の分野	前年同期を2億26百万円上回り、4億66百万円(前年同期比94.4%増)
商品・製品販売		前年同期を18百万円上回り、94百万円(前年同期比24.8%増)

▶ 連結財政状態に関する主な事項

- ⊕ 総資産 … 115億48百万円 (前期末比1億49百万円減)
- ⊕ 自己資本比率 … 62.7% (前年度末 65.4%)

1. 第3四半期決算のポイント

1.2. 第3四半期の振り返り

単体

全般傾向

景況感は、決して良好とはいえない状況であったが、
開発案件の引き合いが増加傾向にあり、
受注および開発要員の稼働率も順調に推移した。

課題

営業およびプロモーション活動の強化







組込ソリューション事業の拡大

サービスビジネス事業の見直し

1. 第3四半期決算のポイント

1.3. 第3四半期の振り返り

子会社

	<p>クレスコ・ イーソリューション</p>	<p>SAP関連のコンサルティングおよび開発案件が順調に推移 経験者の採用およびパートナー会社の発掘が課題</p>
	<p>ワイヤレス テクノロジー</p>	<p>Bluetooth関連製品の受注時期のずれ込み等が発生 量産案件の受注、自社製品の差別化が課題</p>
	<p>クレスコ・ コミュニケーションズ</p>	<p>沖縄関連事業、ネット監視事業の案件確保が課題 その他SIおよびコンサルティング案件の受注に注力</p>
	<p>クレスコ・ アイディー</p>	<p>2011年4月に新規設立 セキュリティロッカー等、RFID関連製品の受注が不振 新たにNFC関連サービスを展開</p>
	<p>アイオス</p>	<p>新規受注不足による要員稼働率低下 グループ連携による営業活動の強化に注力</p>
	<p>インフィニード</p>	<p>地場顧客の開拓とニアショア拠点化が課題 グループ連携による営業活動の強化に注力</p>

2.1. 損益計算書 [要約]

連結

[単位:百万円未満切捨]

	2011年3月期 第3四半期 ＜実績＞	2012年3月期 第3四半期 ＜実績＞	前年 同期比	2012年3月期 通期 ＜2011/5/9公表＞
売上高	11,519	12,609	109.5%	16,500
売上総利益	1,656 (14.4%)	1,959 (15.5%)	118.2%	2,980 (18.1%)
営業利益	437 (3.8%)	656 (5.2%)	150.0%	980 (5.9%)
経常利益	642 (5.6%)	758 (6.0%)	118.2%	1,130 (6.8%)
当期純利益	394 (3.4%)	210 (1.7%)	53.3%	600 (3.6%)
EPS 円/株	33.08	19.00	—	55.29

【注】 ()内の数字は各々の利益率を表します。

2.2. セグメント売上高の比較 連結

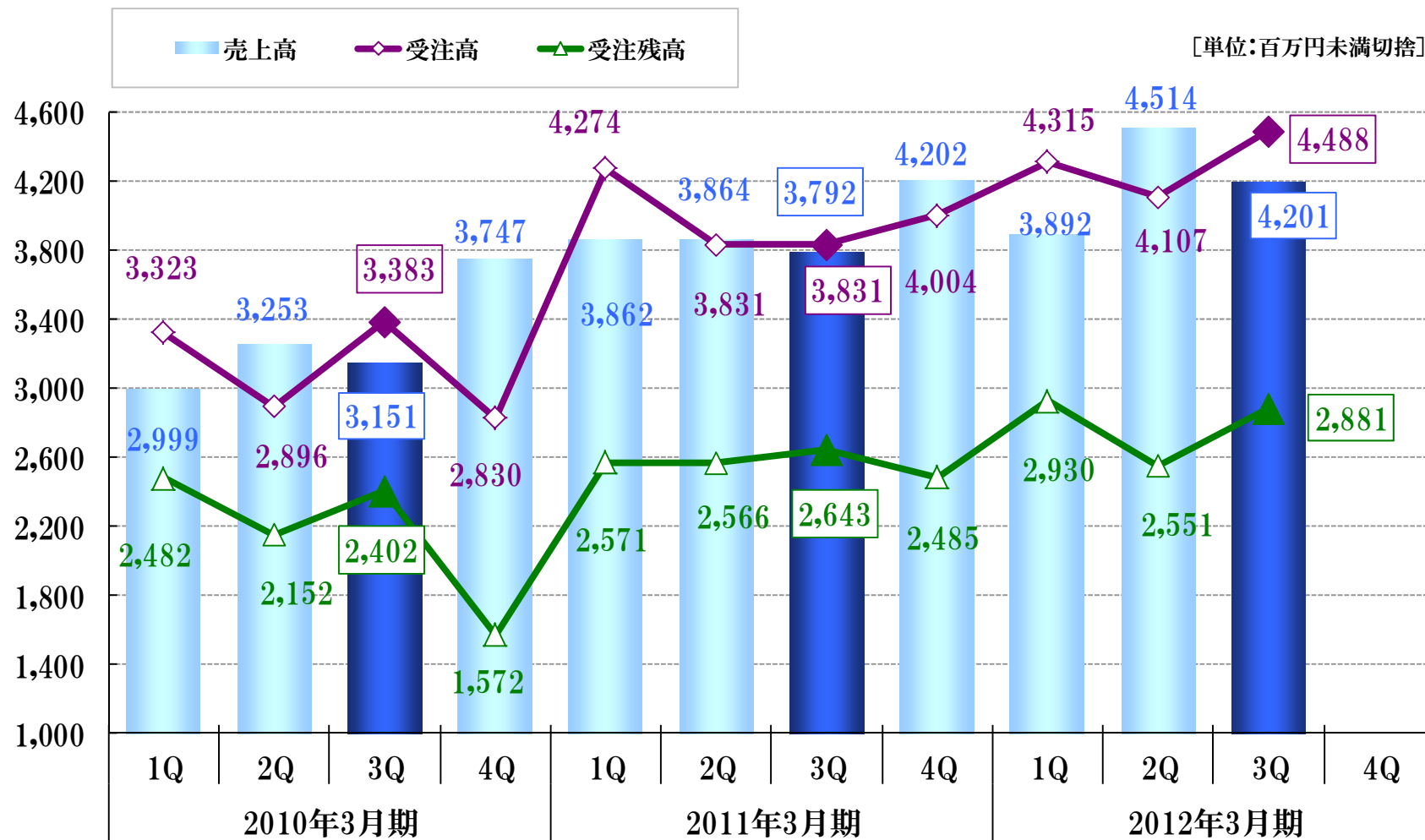
[単位:百万円未満切捨]

大区分	セグメント 小区分	2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期	増減	増減率
ソフトウェア	金融関連	4,192	5,248	1,055	25.2%
	公共・サービス	2,822	3,121	298	10.6%
	流通・その他	2,107	2,109	2	0.1%
	計	9,122	10,478	1,356	14.9%
組込型 ソフトウェア	通信システム	749	610	▲139	▲18.6%
	カーエレクトロニクス	1,330	958	▲372	▲28.0%
	その他	240	466	226	94.4%
	計	2,320	2,035	▲284	▲12.3%
商品・製品販売		76	94	18	24.8%
全計		11,519	12,609	1,090	9.5%

2. 財務経営成績 等

2.3. 売上高・受注高・受注残高の推移

連結



2.4. 損益計算書 [要約]

単体

[単位:百万円未満切捨]

	2011年3月期 第3四半期 ＜実績＞	2012年3月期 第3四半期 ＜実績＞	前年 同期比	2012年3月期 通期 ＜2011/5/9公表＞
売上高	8,201	8,921	108.8%	11,600
売上総利益	1,062 (13.0%)	1,353 (15.2%)	127.4%	1,860 (16.0%)
営業利益	349 (4.3%)	592 (6.6%)	169.8%	680 (5.9%)
経常利益	494 (6.0%)	738 (8.3%)	149.4%	850 (7.3%)
当期純利益	323 (3.9%)	261 (2.9%)	80.8%	450 (3.9%)

【注】（）内の数字は各々の利益率を表します。

2. 財務経営成績 等

2.5. 損益計算書 [要約]①

子会社

[単位:百万円未満切捨]

	 クレスコ・イー・ソリューション [資本金: 200]		 ワイヤレステクノロジー [資本金: 50]		 クレスコ・コミュニケーションズ [資本金: 50]	
	2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期	2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期	2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期
売上高	1,009	962	73	121	131	101
売上総利益	147	217	20	22	32	25
営業利益	41	88	6	5	▲ 6	▲ 13
経常利益	51	89	6	5	▲ 5	▲ 13
当期純利益	28	49	3	3	▲ 4	▲ 7
持分比率	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	86.0%	86.0%

2.5. 損益計算書 [要約]②

子会社

[単位:百万円未満切捨]

	 クレスコ・アイディー [資本金: 100]		 アイオス [資本金: 313]		 インフィニード [資本金: 17]	
	2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期	2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期	2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期
売上高	-	13	2,024	2,389	102	125
売上総利益	-	0	383	311	5	16
営業利益	-	▲ 34	98	27	▲ 6	▲ 2
経常利益	-	▲ 34	117	33	0	▲ 1
当期純利益	-	▲ 34	84	▲ 1	0	▲ 2
持分比率	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【注】「クレスコ・アイディー」は2011年4月5日に設立しております。

3.1. 基本方針

顧客創造
顧客創造

3.2. 重点施策

- ▶ **営業部門の拡充**
営業専任者の増員、営業統括部の設置
- ▶ **グループ本部の設置**
グループ戦略、営業活動・広報活動支援、コンプライアンス強化
- ▶ **擬似カンパニー制の強化**
営業利益ベースでの業績評価、部門裁量の拡大
- ▶ **政策予算の確保**
人材採用、開発支援、グループ活動強化等
- ▶ **モバイルへの取組み**
スマートデバイス等、新メディアへの積極対応

3.3. 今後の事業展開、株主還元方針など①

1 経営環境

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)の経営環境は、上半期は東日本大震災の影響で、設備投資や消費に対する閉塞感が拭えないまま推移いたしました。下半期以降は、欧州の債務問題や円高、タイの洪水等の影響を受けて、景気持ち直しのペースは緩やかではありましたが、設備投資や消費マインドは、概ね改善基調でありました。

2 クレスコグループ ソリューションフォーラム開催

来る2012年2月14日(火)に「クレスコグループ ソリューションフォーラム2012 in 品川(以下、本イベント)」を開催いたします。本イベントは、クレスコブランドの浸透を図るべく、グループ企業9社合同で開催するプライベートセミナーです。今年度は、「次世代クレスコ」の創生に向けた重要な1年と位置づけ、「顧客創造」を基本方針に掲げて、グループ連携による営業活動の強化、新たなサービスメニューの開発に取り組んでおります。本イベントでは、グループ各社の数多くのソリューションから選りすぐった新進ソリューションと技術集団ならではの最新テクノロジーをセミナーやブース展示にてご紹介いたします。

3. ビジョンと戦略

3.3. 今後の事業展開、株主還元方針など②

3 自己株式の消却

経営環境の変化に対応できる機動的な資本政策遂行を目的として自己株式を取得し、保有しておりますが、発行済株式総数の減数を通じた株主利益の増進を図る観点から、保有する自己株式の一部消却を実施するものであります。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| 2. 消却する株式の数 | 1,200,000株 |
| | (消却前発行済株式総数(自己株式を含む)に対する割合 9.09%) |
| 3. 消却予定日 | 平成24年2月17日 |
| 4. 消却後の当社の発行済株式の総数(自己株式を含む) | 12,000,000株 |
| | (消却後の自己株式数 1,205,248株) |

4 株主還元方針

株主還元方針といたしましては、何よりも業績に裏付けられた適正な利益配当に重点をおいており、特段の株主優待は行っておりません。
 なお、配当に関しましては、当社の経常利益を基に特別損益を零(ゼロ)とした場合に算出される当期純利益の40%相当額を継続的に実現することを目指してまいります。

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業績や結果と大きく乖離するなど、本資料の内容とが異なる可能性もございます。予めご了承ください。